

大平地域包括支援センター 担当

✚ 日 時： 令和6年1月17日（水）午後1時30分～2時15分

✚ 開催方法： 栃木市役所大平総合支所 第3会議室

✚ 事例数： 1ケース

✚ 参加者数： 11名

事例提供者1名、助言者6名、サービス事業者1名

包括職員2名、傍聴者1名

股関節や下肢の痛みによるストレスを抱える 91 歳女性

〈目標〉1日：転ばないように気をつけて生活する。

1年：リハビリを行い下肢筋力や体力を維持し元気に過ごす。

利用サービス：通所リハビリテーション、福祉用具貸与

《生活全般の解決すべき課題（ニーズ）》

- ・股関節や下肢に痛みがあるため、リハビリを継続し、ポータブルトイレや手すり、シルバーカーを利用し、安全に過ごすことが出来る。
- ・他者とコミュニケーションを楽しむことが出来る。

《助言者からの助言内容》

- ・下肢の手術の決定は家族の意見も参考にしながら、最終的には本人の意思を第一優先で考える。
- ・口腔トラブル予防のためセルフケアを継続する。定期的な歯科医院の受診が難しい場合は、基本チェックリストや口腔ケアチェックリストの状況で歯科医院受診や訪問診療を勧める。
- ・鎮痛剤を自己判断で内服しないことについては、内服することで痛みが緩和され、近所の店へ出掛け友人と話すことが出来るなど、内服する理由や目的を明確にする。
- ・新しい薬は効果が現れるまでに 1 週間程かかる。様子を見て体調が優れない場合は、医師や薬剤師への相談を勧める。
- ・ながら運動をしたり、散歩や料理等を行い活動を増やしていく。
- ・椅子に座り適切な高さで食材の下処理を行ったり、加熱は電子レンジを使用して短時間で済ませる等、好きな料理が出来る工夫を行う。
- ・買い物に興味があるため、ふれあい在宅サービスを利用したり、ストレス軽減のために傾聴ボランティアの利用を勧める。



・股関節や下肢の痛みによるストレスと、家族と本人のニーズの違いがある。本人や家族の気持ちを整理し、本人が意思決定出来たり、ストレスを軽減できるような支援を行う。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

- ・地域住民も含めた社会参加やストレスを軽減する場が必要である。